

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山科御陵マンション 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都市山科御陵別所町133-2、137-2	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	310人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年4月4日
敷地面積	951㎡	作成者	楽総合計画 株式会社 浅貝 克彦
建築面積	425㎡	確認日	2017年4月6日
延床面積	2,349㎡	確認者	楽総合計画 株式会社 浅貝 克彦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.3	Q2のスコア = 2.5	Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.4	LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、耐用年数の高い建築材料を使用している。	特になし	
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 耐用年数の高い建築材料採用。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明の採用。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能で、再利用できるユニット部材を使用している。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たし、広告照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される